

事務事業調査

平成27年度

事業No	127	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	林武宏
						決裁者	野本久恵
事務事業名		町内会組織活性化事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 2 自治組織（町内会等）活動 1 町内会組織の活性化			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		10-5-65
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	各町内会が		~になる	コミュニティを運営する能力を向上させることができる。	
事務事業の内容	町内会を地域活動の基本組織と位置づけ、行政の重要なパートナーという認識のもと住民の地域への関心を深め、住民相互の連帯感を醸成するため町内会への加入を促進します。町内会長連絡協議会の活性化を図り、町内会相互及び行政との情報交換や連絡調整機能の充実を目指します。					
改善・対策の履歴	パソコン研修で、「町内会からの情報発信」として、ツイッターの使い方、フェイスブックの紹介、ブログを使った情報発信方法の講座を行いました。 (平成26年度) 転入時に配布する町内会加入促進リーフレットの内容に町内会連絡先を追加等、内容を充実しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	5,555	4,709	4,972	4,874	4,920
財源計	1,460	1,559	1,822	1,724	1,770
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,460	1,559	1,822	1,724
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	4,095 (0.65)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	町内会長連絡協議会の税務研修等の研修の開催	見込	2.00	3.00	3.00	3.00
			実績	4.00	3.00	3.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,301	1,539	1,481	
			活動にかかるコスト (千円)	575.25	513.00	493.67	
活動2	活動名 (活動内容)	町内会長連絡協議会総会・理事会の開催	見込	7.00	7.00	7.00	7.00
			実績	7.00	7.00	7.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,485	2,291	2,168	
			活動にかかるコスト (千円)	355.00	327.29	309.71	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	町内会加入率(%)			目標	79.00	79.00	80.00	80.00
				実績	73.50	73.80	74.80	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	80.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	町内会相互及び行政との情報交換が図られています。
----	--------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	研修回数や総会、理事会及び研修開催回数が平成25年度と同様であったため、単位コストにほとんど変化はありませんでした。
成果	町内会加入率がH25年度と比較して1ポイント上昇して、74.8%となりました。町内会連絡協議会役員及び各町内会における地道な加入PR活動が功を奏しました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
町内会加入率の向上策について、引き続き町内会長との協議の場を設けるとともに個人情報にも配慮します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	町内会組織は行政の重要なパートナーという認識のもと、住民相互の連帯感を醸成するため町内会への加入を促進するとともに、町内会相互及び行政との情報交換や連絡調整機能の充実を目指し、行政とのパートナーシップの向上につなげていきます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	129	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	林武宏
						決裁者	野本久恵
事務事業名	町内会活動支援事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 2 自治組織（町内会等）活動 2 活動助成の充実			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	町内会が		~になる	コミュニティ活動の活性化を図れるようになる。	
事務事業の内容	住民主体の特色ある地域づくりの実現をめざし、環境美化、自主防災、地域福祉活動などに対する助成をし、魅力ある活動を支援します。					
改善・対策の履歴	年々増加する町内人口に対し、予算の範囲内において、人口増加した地域に活動補助金を増額し支援しました。 A E D 設置状況等を確認して、更新に係る費用について補助対象とするかの可否を検討しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	104,089	104,334	113,832	107,635	113,882
財源計	102,514	103,452	112,950	106,753	113,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	102,514	103,452	112,950	106,753
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,575 (0.25)	882 (0.14)	882 (0.14)	882 (0.14)	882 (0.14)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	町内会活動事業補助金	見込	79.00	79.00	79.00	79.00
			実績	79.00	79.00	79.00	
	指標名 (単位)	町内会(団体)	活動の総事業費 (千円)	102,567	102,346	105,590	
			活動にかかるコスト (千円)	1,298.32	1,295.52	1,336.58	
活動2	活動名 (活動内容)	掲示板・AED設置補助金	見込	40.00	39.00	42.00	42.00
			実績	19.00	27.00	22.00	
	指標名 (単位)	設置箇所(箇所)	活動の総事業費 (千円)	1,522	1,988	2,045	
			活動にかかるコスト (千円)	80.11	73.63	92.95	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	活動支援率(支援を受けた町内会/全町内会)(%)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	町内会活動の財政的支援を行うことにより、町内会組織の運営に資することができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	増加する地域福祉や防災・防犯対策、青少年健全育成などの町内会活動にかかる経費を町内会の努力により賄われています。
成果	地域福祉や防災・防犯対策、青少年健全育成などの町内会活動への支援を行うことができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
地域住民の安全・安心の向上に資する目的で、平成22年度からAED設置補助事業を開始しましたが、26年度末時点で設置が18町内会(2連合町内会を含む)に留まっているため、設置の促進を図ります。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	引き続き、住民主体の地域づくりへの活動に対する支援を実施していきます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	134	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	林武宏
						決裁者	野本久恵
事務事業名		リーダー育成事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 1 コミュニティ活動 2 コミュニティリーダーの育成			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		10-5-65
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	町内公民館長・主事が		~になる	地域活動の企画・運営能力を向上させることができる。	
事務事業の内容	地域の町内公民館活動の参考になるような研修会を企画し、リーダーの育成を図ります。					
改善・対策の履歴	案内を公民館長と公民館主事宛に別々に送付し参加を促すとともに、案内文に他の方への参加依頼を記載し参加を促しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,033	1,125	1,139	1,123	1,131
財源計	25	54	68	52	60
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	25	54	68	52
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,008 (0.16)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)	1,071 (0.17)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	館長主事研修会の開催	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	529	621	619	
			活動にかかるコスト (千円)	264.50	310.50	309.50	
活動2	活動名 (活動内容)	郊外研修会の開催	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(件)	活動の総事業費 (千円)	504	504	504	
			活動にかかるコスト (千円)	504.00	504.00	504.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	館長主事研修会へ参加する延べ人数(人)			目標	200.00	200.00	200.00	200.00
				実績	196.00	203.00	185.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	未達成	
成果2	郊外研修会に参加するリーダー数(人)			目標	63.00	63.00	63.00	63.00
				実績	67.00	56.00	58.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	研修会を受講することで、各公民館長及び主事の公民館事業運営の参考となりました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	研修会講師により講師料が増減します。
成果	各地域での繁忙時期等にばらつきがあり、参加可能な人数の推測が難しくなっています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
魅力的な研修となるようアンケート結果を踏まえた研修メニューの選定を行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	地域のリーダーとしての資質向上の取組は市として責任を持って実施する必要があります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	128	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	林武宏
						決裁者	野本久恵
事務事業名	町内公民館組織活性化事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 2 自治組織（町内会等）活動 1 町内会組織の活性化			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	町内公民館で活動する団体が			~になる	活発に活動できるようになる
事務事業の内容	町内公民館芸能活動発表会及び公民館連絡協議会の活動に対し、補助金を交付します。					
改善・対策の履歴	発表会の効率化を図るため、琴演奏はセッティングに時間を要するため、琴と大正琴の団体をグループ化し、前半と後半に分けて発表する方法にしました。ごみ減量と経費削減のため、チラシの作成枚数を各町内公民館にヒアリングしてから作成しました。幅広い世代に鑑賞いただけるように記念品等を工夫しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,489	3,310	3,349	3,349	3,349
財源計	465	475	514	514	514
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	465	475	514	514
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,024 (0.48)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	町内公民館芸能活動発表会の開催	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	3,018	2,955	2,955	
			活動にかかるコスト(千円)	3,018.00	2,955.00	2,955.00	
活動2	活動名 (活動内容)	町内公民館連絡協議会総会・理事会の開催	見込	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	5.00	6.00	5.00	
	指標名 (単位)	理事会開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	471	355	394	
			活動にかかるコスト(千円)	94.20	59.17	78.80	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	町内公民館芸能活動発表会に出演する団体数(団体)		目標	40.00	40.00	39.00	39.00
			実績	37.00	36.00	36.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	文化センターマツパホールのような大きな舞台で発表する機会を得ることで、日常の生涯学習活動に対する目標となり、町内公民館活動の推進を図ることができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	理事会に諮る協議事項の多寡により理事会回数が変動します。26年度は昨年度に比べて開催回数が減少したため、コストが上昇しました。	
成果	地域の文化活動参加者が横ばいなため、芸能活動発表会への参加者がやや固定化されつつあります。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
地域の文化活動をPRできるような支援を検討していきます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	町内公民館連絡協議会が、各町内公民館相互及び行政との情報交換や連絡調整機能を持った組織として、町内住民のための活動を推進できるよう引き続き支援していきます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	130	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	林武宏
						決裁者	野本久恵
事務事業名					町内公民館活動支援事業	事業種別	市民サービス

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 2 自治組織（町内会等）活動 2 活動助成の充実			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	町内公民館活動が		~になる	活発に行われるようになる。	
事務事業の内容	地域における生涯学習活動の充実を図るため、各町内公民館活動に対し補助金を交付し、町内公民館活動を支援します。					
改善・対策の履歴	モデル地区として実施できる事業が、講師に対する報酬に限定されていたので他の必要経費でも対象とできるように改正しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	14,980	15,637	16,687	16,326	16,727
財源計	13,468	13,495	14,545	14,184	14,585
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	13,468	13,495	14,545	14,184
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,512 (0.24)	2,142 (0.34)	2,142 (0.34)	2,142 (0.34)	2,142 (0.34)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	町内公民館活動推進モデル地区の事例発表	見込	4.00	3.00	3.00	3.00
			実績	3.00	3.00	3.00	
	指標名 (単位)	事例発表町内公民館数(町内公民館)	活動の総事業費(千円)	843	843	843	
			活動にかかるコスト(千円)	281.00	281.00	281.00	
活動2	活動名 (活動内容)	町内公民館活動事業補助金	見込	79.00	79.00	79.00	79.00
			実績	79.00	79.00	79.00	
	指標名 (単位)	交付町内公民館数(町内公民館)	活動の総事業費(千円)	14,137	14,794	15,483	
			活動にかかるコスト(千円)	178.95	187.27	195.99	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	モデル地区の実施事業件数(件)			目標	25.00	25.00	25.00	25.00
				実績	12.00	16.00	22.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	モデル地区による事例発表が他の公民館事業への取組みの参考になりました。
----	-------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	活動事業補助金は各町内公民館の世帯数によって補助をしています。本市は世帯数が年々増加しているため、補助金は増加しています。
成果	各町内公民館における地域に密着したイベントの実施に資することができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
引き続き、モデル地区事業を実施した公民館は、その事業について他公民館へ事例発表することとします。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	町内会公民館は地域における生涯学習活動の場を提供するとともに、地域のコミュニティの拠点です。引き続き、この公民館活動に支援していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	133	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	林武宏
						決裁者	野本久恵
事務事業名		コミュニティ意識啓発事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 1 コミュニティ活動 1 コミュニティ意識の啓発			予算科目(会計)		一般会計
				予算科目(款・項・目)		10-5-65
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	昭和55年度	経過	35年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	コミュニティ活動に参加する。	
事務事業の内容	コミュニティ活動は、そこに暮らす地域住民が、その地域を快適で住みよいものにしていこうとする協働のことです。積極的・自主的な住民自治への意識を育むため、町内公民館を建設した場合や人口増加が著しい地域に対し、コミュニティ活動に必要な設備・備品の整備を支援します。					
改善・対策の履歴	設備・備品の整備後、広報あじょうに本事業により整備したことを掲載し、PRしています。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,245	3,282	3,382	2,882	5,682
財源計	2,300	2,400	2,500	2,000	4,800
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	2,300	2,400	2,500	2,000
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	2,500	0	4,800
職員人件費 (従事職員数)	945 (0.15)	882 (0.14)	882 (0.14)	882 (0.14)	882 (0.14)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	コミュニティ助成事業補助金	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	交付団体数(団体)	活動の総事業費(千円)	2,930	3,030	2,630	
			活動にかかるコスト(千円)	2,930.00	3,030.00	2,630.00	
活動2	活動名 (活動内容)	広報やホームページ等PR活動	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	PR回数(回)	活動の総事業費(千円)	315	252	252	
			活動にかかるコスト(千円)	315.00	252.00	252.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	助成を受けて行ったコミュニティ活動事業数(回)			目標	4.00	4.00	4.00	4.00
				実績	2.00	4.00	1.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	補助金による設備・備品の整備により、コミュニティ活動の推進を図ることができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	財団法人自治総合センターの助成事業を活用した事業により、設備・備品の整備にかかる費用に対する市の負担はありません。
成果	町内会にコミュニティ助成事業により整備されたものであるということの自覚を促し、地域住民に対しより積極的に活動参加を推進するようになりました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
一般コミュニティ助成事業補助金の制度を有効的に活用し、多くの住民がコミュニティ活動に参加するようPR活動等を進めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	地域の課題である防災・防犯対策や環境問題等に地域住民が参画するようなコミュニティ活動への支援を図ります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	126	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	林武宏
						決裁者	野本久恵
事務事業名	コミュニティ施設整備事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 3 地域自治（コミュニティ） 1 コミュニティ活動 3 コミュニティ施設の充実			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	有	補助限度額の増額				
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成元年度	経過	26年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	コミュニティ施設の利用者が			~になる	安全で使いやすい公民館を利用できるようになる
事務事業の内容	コミュニティ活動の拠点である町内公民館の建設や修繕、下水道接続、借地料などに対する補助金を交付します。					
改善・対策の履歴	耐震診断の未実施及び耐震補強を必要とする施設が潜在的にあると思われる中で、町内会にまずは耐震診断を促しましたが、結果0件でした。更にPRに努めていきます。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	21,235	43,668	44,142	30,705	59,888	
財源計	19,849	41,967	42,441	29,004	58,187	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	19,849	41,967	42,441	29,004	58,187
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	1,386 (0.22)	1,701 (0.27)	1,701 (0.27)	1,701 (0.27)	1,701 (0.27)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	コミュニティセンター建設補助金の交付	見込	0.00	2.00	0.00	1.00
			実績	0.00	2.00	0.00	
	指標名 (単位)	補助件数(件)	活動の総事業費(千円)	126	26,380	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	13,190.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)	町内公民館の修繕等への補助金の交付	見込	20.00	20.00	20.00	20.00
			実績	30.00	28.00	31.00	
	指標名 (単位)	修繕箇所(箇所)	活動の総事業費(千円)	16,375	12,819	26,362	
			活動にかかるコスト(千円)	545.83	457.82	850.39	
活動3	活動名 (活動内容)	耐震改修費等補助金の交付	見込	5.00	4.00	4.00	0.00
			実績	1.00	1.00	0.00	
	指標名 (単位)	補助件数(件)	活動の総事業費(千円)	626	126	0	
			活動にかかるコスト(千円)	626.00	126.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	町内公民館建設・修繕補助件数(件)			目標	25.00	26.00	25.00	25.00
				実績	30.00	30.00	31.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	25.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	町内公民館の改修等により、公民館利用の促進及び利用者の利便性が向上しました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	改修・修繕の費用は改修・修繕工事の業者選定では、複数業者からの見積もりを取ってもらい、経費の削減に努めています。が、今年度の改修や修繕箇所等が昨年度と比べて規模が大きく、単位コストが上がっています。
成果	改修・修繕工事は、各町内会の計画により年毎に異なるうえ、修繕が緊急的修繕を要するものもあり、件数の減少が成果に必ずしもつながらない場合もあります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
地震対策や減災の側面からも、耐震改修や老朽化した建物の改修を促進するとともに、補助金の交付条件について、より利用しやすい内容を検討します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	地域住民が安全・安心して町内公民館を利用できるよう補助制度の内容を精査し、コミュニティ活動を推進します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	135	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	林武宏
						決裁者	野本久恵
事務事業名	在住外国人支援事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 2 国際化 1 国際化 1 在住外国人の生活環境整備 1 多言語による情報提供			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成15年度	経過	12年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	外国人住民が		~になる	多言語による生活情報や、行政サービスが受けられる。	
事務事業の内容	外国人住民に対し、市政情報の外国語版の作成、市役所での相談の通訳を行い生活を支援します。					
改善・対策の履歴	生活ガイドブックの外国語版の更新を行いました。 (H26年度)：英語 ※実績 中国語H25・ポルトガル語H24・タガログ語H23・英語H22					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,883	3,473	5,064	4,507	5,208
財源計	103	449	1,095	538	1,239
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	103	449	1,095	538
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,780 (0.60)	3,024 (0.48)	3,969 (0.63)	3,969 (0.63)	3,969 (0.63)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	通訳職員の雇用	見込	300.00	300.00	300.00	300.00
			実績	413.00	310.00	655.00	
	指標名 (単位)	年間の通訳回数(回)	活動の総事業費 (千円)	3,150	2,520	2,835	
			活動にかかるコスト (千円)	7.63	8.13	4.33	
活動2	活動名 (活動内容)	翻訳委託	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	委託件数(件)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	申請書類等の外国語版翻訳率(%)			目標	75.00	75.00	80.00	82.00
				実績	63.00	58.00	58.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	82.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	外国語翻訳のみでなく、「やさしい日本語」活用の意識が職員に浸透しています。
----	---------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	職員によるポルトガル語の翻訳及び安城市国際交流協会での英語の翻訳を対応したため、外部への翻訳委託料がありませんでした。
成果	翻訳率の向上には、他課での翻訳の取組の推進が必要となります。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
各課に申請書類等で、外国人住民の需要が高いものから順に書類の多言語化を進めていくよう依頼し、多言語化を進めていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	今後も継続して申請書類などの翻訳を進めていきます。また、日本の社会で生活していくうえで必要な情報を多言語で提供することに努めます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	138	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	林武宏
						決裁者	野本久恵
事務事業名		多文化共生社会推進事業			事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 2 国際化 1 国際化 2 国際理解 2 多文化共生社会の推進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	行政関連団体			
実施期間	開始	平成17年度	経過	10年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市内在住の日本人と外国人が		~になる	お互いの文化や習慣を尊重し理解を深めるようになる。	
事務事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流イベントや国際理解講座などを開催し、外国人住民の方々を地域住民としてお互いに理解を深め、尊重し合う多文化共生社会の形成を推進します。 姉妹都市との学生の交換派遣及び市民などの派遣を通して、友好親善及び相互理解を図ります。 					
改善・対策の履歴	<ul style="list-style-type: none"> 定住外国人が増加傾向にある現状を踏まえ、料理などの文化だけでなく、防災など日本の社会で生活していくうえで必要な知識を学ぶことができる講座を実施しました。 平成25年度 多文化共生プラン(平成26~30年度)を策定しました。 					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	24,878	20,761	29,704	26,396	29,559	
財源計	19,019	18,052	20,569	17,261	20,424	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	670	914	385	1,068	764
	一般財源	18,349	17,138	20,184	16,193	19,660
受益者負担金	91	115	120	70	100	
職員人件費(従事職員数)	5,859 (0.93)	2,709 (0.43)	9,135 (1.45)	9,135 (1.45)	9,135 (1.45)	
人事課予算分人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	国際交流協会による事業の実施	見込	20.00	20.00	20.00	20.00
			実績	26.00	27.00	25.00	
	指標名 (単位)	実施回数(回)	活動の総事業費(千円)	20,713	15,239	17,797	
			活動にかかるコスト(千円)	796.65	564.41	711.88	
活動2	活動名 (活動内容)	高校生国際交流支援事業補助金	見込	0.00	0.00	5.00	5.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	補助金交付者(人)	活動の総事業費(千円)	0	0	2,821	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	2,821.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	国際交流イベントや国際理解講座の参加人数(人)			目標	400.00	400.00	400.00	400.00
				実績	675.00	1,838.00	1,333.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	外国人の参加率(外国人/参加者)(%)			目標	10.00	10.00	10.00	10.00
				実績	2.50	2.40	3.10	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	・外国人参加者の一部の方とのコミュニティのパイプができ、情報発信の拡大につながるツールが増えました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・国際交流協会主催による事業数は減少しましたが、大規模イベントを実施したため、事業当たりコストが増加しました。
成果	・外国人住民に興味の持てるイベントを実施したことで、外国人住民の参加率上昇に結びつきました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを行う際により多くの方に参加してもらうため、告知をHPやチラシ、広報などだけでなく、外国人を雇用している市内企業にも協力を依頼します。 ・定住外国人が増加傾向の現状を踏まえ、引き続き外国人住民を対象に日本で生活していくうえで有益となる内容の講座を検討し開催していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	多文化共生社会の実現に向け、今後も外国人住民とより理解を深めていくための一助となる事業を実施していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	141	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	市民活動啓発事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 2 市民参加・市民活動支援 2 自主的な市民活動 1 市民の参加意識の啓発			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	民間企業, NPO			
実施期間	開始	平成17年度	経過	10年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	これから市民活動をしようとしている市民や団体が			~になる	市民活動に参加できるようになる
事務事業の内容	あんじょう市民活動情報サイトを開設し、各市民活動団体の団体情報、イベント情報、ボランティア募集情報を公開し、情報発信を行います。					
改善・対策の履歴	平成19年度：ホームページの内容を一部修正しました。 平成25年度：情報サイトの登録団体の増加を図り、1団体あたりのコストを削減することができました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,281	1,281	1,440	1,440	1,440
財源計	1,155	1,155	1,188	1,188	1,188
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,155	1,155	1,188	1,188
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	126 (0.02)	126 (0.02)	252 (0.04)	252 (0.04)	252 (0.04)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	システム使用契約	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	一式(式)	活動の総事業費 (千円)	1,218	1,218	1,251	
			活動にかかるコスト (千円)	1,218.00	1,218.00	1,251.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	あんじょう市民活動情報サイト登録団体数(団体)		目標	365.00	360.00	350.00	350.00
			実績	334.00	354.00	358.00	
		目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	350.00	達成状況	未達成
成果2	あんじょう市民活動情報サイトアクセス数(回)		目標	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
			実績	12,330.00	10,535.00	8,034.00	
		目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	情報サイトを通してイベントやボランティアへの参加申込みがありました。
----	------------------------------------

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		システム業者への委託料に増減がなく、人工も必要最低限であるためコストの削減はできませんでした。
成果		交流センターの登録団体への窓口での説明によって、情報サイトの登録団体数を増やすことができました。しかしながら、情報サイトのアクセス数を伸ばすことはできませんでした。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	情報サイトの利用者増加を図り、利用者あたりのコストの削減を図ります。団体登録手続の見直しについて、市民活動センター及び社会福祉協議会のボランティアセンター等が共用できる情報サイトへの更新も視野に入れた検討を行っていきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	ICT情報は必須の時代であり、情報サイトの存在は不可欠です。今後も情報サイトをより多くの方が登録し、活用できるようにしていきます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	145	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	男女共同参画グループ人材育成事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 4 男女共同参画 2 あらゆる場での共同参画 1 方針決定の場における女性の参画促進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画	安城市男女共同参画プラン	
				関連する総合計画の施策	6-1-4-1-2, 6-1-4-1-3, 6-1-4-2-2	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成14年度	経過	13年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	エンパワーメント講座等の受講者が		~になる	方針・施策決定の場に参画できるよう な力をつけるようになる	
事務事業の内容	女性が社会において広く活躍し、市政への参加や審議会等への女性登用が進むよう、女性の資質向上を目指した講座を開催し、人材の育成を行います。					
改善・対策の履歴	平成21年度：講座の名称を「ステップアップ講座」から「さんかく21カレッジ」への変更しました。実践講座を市民グループと協働で開催しました。 平成25年度：「エンパワメント講座」等の内容を企画段階から「さんかく21・安城」と協議・調整のうえ策定しました。 平成26年度：アンケート等の意見を踏まえて、昨年度までは6回目に「講義とグループ発表」していたものを「講義とグループワーク」とし、7回目にグループ発表することで、グループ報告の準備時間を十分に取ることができました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	2,329	3,042	2,424	2,289	2,508	
財源計	187	207	408	273	492	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	9	0	10
	一般財源	187	207	399	273	482
受益者負担金	0	10	9	0	10	
職員人件費 (従事職員数)	2,142 (0.34)	2,835 (0.45)	2,016 (0.32)	2,016 (0.32)	2,016 (0.32)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	エンパワメント講座開催	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,405	1,418	1,510	
			活動にかかるコスト(千円)	1,405.00	1,418.00	1,510.00	
活動2	活動名 (活動内容)	さんかく21カレッジ開催	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	630	664	653	
			活動にかかるコスト(千円)	630.00	664.00	653.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	エンパワメント講座受講者数(人)		目標	20.00	20.00	20.00	20.00
			実績	20.00	20.00	20.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	さんかく21カレッジ受講者数(人)		目標	20.00	20.00	20.00	20.00
			実績	44.00	42.00	26.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	参加者のアンケート結果からは、「楽しい講座でした。」、「貴重な話が聞けてよかった。」などの意見や、グループ分けに関する意見などを聴取することができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	講座最終回(7回目)の成果報告会にも講師に参加していただいたことから講師謝礼分を増額したことからコストが増加しました。
成果	講座報告書からも「講座を終了して、学びを行動に移したい。まずは、今後もこの講座が続いていけるようお手伝いしていきたい。」など前向きのご意見をいただくことができました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
参加者の意見にもあるように、一貫したグループ編成ではなく、テーマの内容により本人の希望を考慮して途中で班編成をし直すなど、本人の意向やモチベーションを損なわないような工夫をします。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	平成14年度から人材育成事業を「さんかく21・安城」とも協働しながら実施していますが、男女共同参画を担う人材の育成には継続性が重要と考えます。したがって、受講修了者が参画していくことができる仕組みも含めて引き続き実施していきます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	146	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	男女共同参画グループ活動事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 4 男女共同参画 2 あらゆる場での共同参画 2 地域生活・地域社会における促進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画	安城市男女共同参画プラン	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成11年度	経過	16年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	男女共同参画社会を実現するための市民グループが			~になる	研修などの学習機会を得ることで、より自主的活動を推進できる
事務事業の内容	さんかく21・安城が開催する総会などの実施を支援します。また、県などが開催している男女共同参画に関する研修会や講座などへ市民を派遣します。					
改善・対策の履歴	平成20年度：日本女性会議への参加者1名を市民公募としました。 平成26年度：さんかく21・安城の個人会員あてにも「さんかく21・安城」総会の案内通知を行いました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,579	2,468	1,207	1,470	1,670
財源計	185	263	136	84	284
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	185	263	136	84
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,394 (0.38)	2,205 (0.35)	1,071 (0.17)	1,386 (0.22)	1,386 (0.22)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	総会の実施	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	総会の開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	630	441	252	
			活動にかかるコスト (千円)	630.00	441.00	252.00	
活動2	活動名 (活動内容)	市民派遣の実施	見込	3.00	3.00	3.00	2.00
			実績	2.00	3.00	2.00	
	指標名 (単位)	市民の派遣回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,129	1,174	897	
			活動にかかるコスト (千円)	564.50	391.33	448.50	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	総会の参加者数(人)		目標	80.00	80.00	80.00	80.00
			実績	64.00	78.00	76.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成
成果2	市民の参加に関する研修等への派遣人数(人)		目標	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	2.00	4.00	2.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	<p>総会の第2部では、「NPO法人育て上げネット中部虹の会」及び「安城市消費生活学校」の先進活動事例の発表があり、質疑応答などそれぞれの団体の参考になるとともに、相互の交流を図ることができました。</p>
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	平成26年度においては、女性会議が北海道で開催されたことにより、予算確保ができなかったことから、さんかく21・安城から1名のみでの参加にとどまり、結果としてコストが減少しています。	
成果	総会については、目標値には及びませんでしたが、参加者の約9割は「良かった」等の感想でした。「成果2」については、予算の枠において、女性会議に1名及び県セミナー1名分しか派遣することができませんでした。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
平成27年度の女性会議は本州内で開催予定であることから、参加者の市民公募を行い、選考基準をもとに適正な選考を行います。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	男女共同参画を担うグループのリーダーとなる人材を育成していくためには、一人でも多くの方に研修等の機会を得ていただくことが重要であり、引き続き継続していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	147	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	男女共同参画月間・週間事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 4 男女共同参画 2 あらゆる場での共同参画 2 地域生活・地域社会における促進				予算科目(会計)	一般会計
					予算科目(款・項・目)	10-5-65
					総合計画以外の計画	安城市男女共同参画プラン
					関連する総合計画の施策	6-1-4-1-2
					性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営		委託先			
実施期間	開始	平成14年度	経過	13年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	イベント参加者が			~になる	男女共同参画についての理解を深めるようになる
事務事業の内容	男女共同参画月間(10月)・週間(6/23~6/29)事業にあわせて啓発イベントを実施します。					
改善・対策の履歴	平成25年度:第3次男女共同参画プランを見直し、その内容を広く市民に周知する必要性がありましたので、男女共同参画週間イベントの中で講演のテーマとして開催しました。 平成26年度:アンケート結果を踏まえ、「女性視点のまちづくり」をテーマとした企画「女性が元気に働き続けられるあいちを目指して」を実施しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,453	4,219	2,993	2,366	2,678
財源計	618	439	662	350	662
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	2	0
	一般財源	618	439	660	350
受益者負担金	0	0	2	0	2
職員人件費 (従事職員数)	2,835 (0.45)	3,780 (0.60)	2,331 (0.37)	2,016 (0.32)	2,016 (0.32)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	男女共同参画フォーラム(月間事業)の実施	見込	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	2,075	1,622	1,527
			活動にかかるコスト(千円)	2,075.00	1,622.00	1,527.00
活動2	活動名 (活動内容)	男女共同参画フォーラム(週間事業)の実施	見込	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	1,340	1,305	774
			活動にかかるコスト(千円)	1,340.00	1,305.00	774.00
活動3	活動名 (活動内容)		見込			
			実績			
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)			
			活動にかかるコスト(千円)			

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	男女共同参画フォーラム(月間事業)参加者数(人)		目標	1,000.00	400.00	400.00	400.00
			実績	931.00	393.00	392.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成
成果2	男女共同参画フォーラム(週間事業)参加者数(人)		目標	80.00	80.00	80.00	80.00
			実績	93.00	62.00	103.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	週間イベントについては、愛知県吉本副知事を講師に招聘したことから、副知事への事前説明においても「さんかく21・安城」会長も同席し、会のPRを行うことができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		イベントの企画・運営を市民グループと協働して行ったこと、また、月間イベントの映画上映については、見積競争したことにより委託費等経費の削減を図ることができました。
成果		月間イベントについては、目標の400人には届きませんでしたが、昨年並みの参加者を得ることができました。週間イベントについては、男女共同参画の取組を積極的に進めている愛知県副知事の講演を聞くことができ、アンケートからも、約80%の方が「良かった」等の結果でした。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
アンケートの結果により改善を進め、多くの人に参加できるような企画を「さんかく・21安城」と検討します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	男女共同参画を推進することの必要性について、多くの市民に認識してもらうための事業が必要であり、これからも継続して実施していきます。

事務事業調査

平成27年度

事業No	148	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	男女共同参画啓発事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 4 男女共同参画 2 あらゆる場での共同参画 1 方針決定の場における女性の参画促進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画	安城市男女共同参画プラン	
				関連する総合計画の施策	6-1-4-2-2, 6-1-4-2-3, 6-1-4-3-1	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	男女共同参画社会基本法、安城市男女共同参画推進条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成17年度	経過	10年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	男女共同参画に関心の低い人が		~になる	男女共同参画に関する情報を得るようになる	
事務事業の内容	男女共同参画に取り組む市民グループのPR、男女共同参画普及啓発等のための情報誌発行及びパンフレットの作成を行います。					
改善・対策の履歴	平成25年度：DV（ドメスティックバイオレンス※1）ミニパンフレットを増刷、男女参画パンフレットを刷新し、配布しました。女性に対する暴力をなくす運動期間（H25.11.12～25）に合わせて、広報への特集記事掲載や女性トイレへのチラシ掲示を行いました。 平成26年度：DVミニパンフレットについては、イラストを追加し、若い世代にもわかりやすく見やすい内容に変更しました。 ※ドメスティックバイオレンスとは、夫婦間などにおける身体的、精神的、性的、経済的な暴力等のことです。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,606	1,755	1,841	1,354	1,448
財源計	157	306	266	220	314
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	157	306	266	220
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	1,449 (0.23)	1,449 (0.23)	1,575 (0.25)	1,134 (0.18)	1,134 (0.18)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	情報誌の発行	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	発行回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,363	1,038	742	
			活動にかかるコスト (千円)	681.50	519.00	371.00	
活動2	活動名 (活動内容)	啓発パンフレット作成	見込	1.00	1.00	1.00	2.00
			実績	1.00	1.00	2.00	
	指標名 (単位)	作成回数(回)	活動の総事業費 (千円)	243	717	612	
			活動にかかるコスト (千円)	243.00	717.00	306.00	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	情報誌発行部数(部)		目標	4,000.00	4,000.00	4,000.00	4,000.00
			実績	5,000.00	4,000.00	4,000.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成
成果2	パンフレット作成部数(部)		目標	1,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
			実績	3,000.00	4,700.00	3,200.00	
		目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	男女共同参画グループの活動やDVに関する情報など広くPRすることができました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト		パンフレット、情報誌ともに市民グループ等が最初の企画段階から参加協働し、取材・文章構成や原稿作成などもできる限り印刷に出す前に作り上げたので、人件費や印刷製本費の削減を図ることができました。
成果		情報誌については、目標どおり4,000部を配布することができました。また、DVのパンフレットについては、イラストを追加するなど見やすくわかりやすい内容に変更しました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	紙面編集や職員の人件費などコスト削減できる部分は検討しつつ内容を充実したチラシを作成していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	男女共同参画やDVに関する啓発を継続的に行うことで、少しずつ市民の参画意識の醸成に寄与していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	151	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	男女共同参画プラン策定事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 4 男女共同参画 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画	安城市男女共同参画プラン	
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの	
根拠法令	有	男女共同参画社会基本法、安城市男女共同参画推進条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H18.6議会(平成19年度中に男女共同参画推進条例の制定を目標とする)				
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成16年度	経過	11年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	男女共同参画社会を認識し、主体的に取り組むようになる	
事務事業の内容	男女共同参画審議会を開催し、プランの進捗管理や提言をいただきながら、市民、企業、学校、行政が一体となってプランを推進します。					
改善・対策の履歴	平成21年度：プラン中間改定を行い、重点項目の変更を行いました。 平成23年度：第3次プラン策定に向けた男女共同参画に関するアンケートを実施しました。 平成24年度：第3次男女共同参画プラン(平成25年度～29年度)を策定しました。 平成25年度：会議の回数を必要数(2回)とし会議経費を縮減しました。 平成26年度：会議の資料説明は、ポイントを絞リパワーポイントを活用することで分かりやすく効率的な会議運営を行うことができました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	8,088	3,404	2,531	2,062	2,423
財源計	2,985	191	578	109	470
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,985	191	578	109
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	5,103 (0.81)	3,213 (0.51)	1,953 (0.31)	1,953 (0.31)	1,953 (0.31)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	懇話会（審議会）の開催	見込	5.00	3.00	2.00	1.00
			実績	5.00	2.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,813	2,045	1,974	
			活動にかかるコスト (千円)	562.60	1,022.50	1,974.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	審議会等への女性の参画割合(%)			目標	31.00	31.00	32.00	32.00
				実績	26.60	28.80	28.10	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	32.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2	男女共同参画に関する苦情件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	女性委員登用を進めるために庁内関係課とヒアリングを行い、現状と課題等を共通認識することができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	第3次安城市男女共同参画プラン進捗のための審議会については、当初2回の開催を予定していましたが、議題を精査し1回開催とし会議費用を縮減しました。
成果	審議会女性登用率が、0.7ポイント減少したのは、複数の審議会を兼任していた小中学校長会長及び社会福祉協議会副会長が退任され、男性に代わったことが大きな要因と考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
適切な時期に関係課とのヒアリングを実施し、女性登用を促します。また、第3次男女共同参画推進プランの見直しについて、どのような体制、仕組みで見直していくのかを検討します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	男女共同参画社会の実現に寄与するため、審議会及び庁内組織において、男女共同参画に関する諸問題を積極的に審議しプランの進捗を図っていきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	825	課	市民協働課	係	地域振興係	起案者	林武宏
						決裁者	野本久恵
事務事業名	国内交流事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 2 市民参加・市民活動支援 2 自主的な市民活動 2 市民の活動参加の促進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	有	H18年5月に加賀市・砺波市と災害時相互応援協定の締結を契機に、市民団体等の交流を推進するため				
陳情・市民要望	無					
実施方法	直営	委託先				
実施期間	開始	平成20年度	経過	7年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民団体などが		~になる	国内交流都市との交流を通して相互の理解を深める。	
事務事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体等が国内交流都市（災害時相互応援協定締結市）である富山県砺波市、石川県加賀市、千葉県香取市、長野県飯田市、岐阜県多治見市、静岡県掛川市、愛知県半田市及び新城市と交流する際の交通費等に対し、補助金を支給することで交流を支援します。 ・東日本大震災に見舞われた、岩手、宮城、福島県の復興支援をする際の交通費等に対し、補助金を支給することで交流を支援します。 					
改善・対策の履歴	平成25年4月からの事業に対応できるよう、岩手、宮城、福島県の団体との交流事業に対する補助については、前年度中に応募・審査・決定する方法に変更し、実施しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	4,971	4,180	6,516	4,078	6,512
財源計	4,089	3,235	5,571	3,133	5,567
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	4,089	3,235	5,571	3,133
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	882 (0.14)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)	945 (0.15)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	国内交流事業補助金	見込	5.00	5.00	10.00	1.00
			実績	7.00	6.00	1.00	
	指標名 (単位)	補助件数(件)	活動の総事業費(千円)	819	653	155	
			活動にかかるコスト(千円)	117.00	108.83	155.00	
活動2	活動名 (活動内容)	東日本大震災復興支援事業補助金(H27新事業補助金)	見込	10.00	10.00	5.00	7.00
			実績	8.00	6.00	7.00	
	指標名 (単位)	補助件数(件)	活動の総事業費(千円)	4,054	3,476	3,917	
			活動にかかるコスト(千円)	506.75	579.33	559.57	
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	申込団体数(申込団体数)			目標	16.00	15.00	15.00	15.00
				実績	20.00	12.00	7.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体がお互いのまちづくりの方法やそれに取り組む姿勢などを交流から学びました。 ・実施団体の報告から、被災地からは、本事業による交流により元気づけられているとの声をもらっています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・国内交流事業補助金が1件であり、その事業補助額のコストが昨年度との比較で上昇しました。
成果	・広報等を通して広く市民団体へPRしたことで、東日本大震災復興支援補助件数が計画値を2件上回りました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
・東日本大震災復興支援事業補助金に変わり、市民のボランティア意識の高揚を図るため、被災地で市民が行うボランティア活動を支援する新たな制度を設けます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	今後も市民団体等が国内都市と教育、文化、産業、経済などの交流を通じて相互理解を深めるよう事業を継続し、広報等でPRに努めます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	938	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	市民参加・市民活動推進事業			事業種別	市民サービス		

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 2 市民参加・市民活動支援 2 自主的な市民活動 2 市民の活動参加の促進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	有	自治基本条例、市民参加条例、市民協働推進条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成21年度	経過	6年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民が		~になる	市民参加と協働により、自立した地域社会を実現する。	
事務事業の内容	市民参加条例（H23.4）、市民協働推進条例（H24.10）を策定し、市民参加と協働のまちづくりを進めるための事業です。市民参加は、取組状況を審議会で評価しています。また、多くの市民が市政参加できるように、人材リストを活用しています。市民協働は、市民協働推進計画（H25.3）に基づいて、スタートアップ事業（協働の人材養成事業、活動補助事業など）をはじめ、54事業を審議会で進捗状況を審議しながら進めています。さらに、市民が安心して社会活動を行えるための「ふれあい補償制度」を運用しています。					
改善・対策の履歴	【平成25年度】市民活動補助金交付団体の活動報告会を兼ねて、団体の相互連携、情報共有の場としてワールドカフェ方式で「わくわく交流会」を実施しました。 【平成26年度】市民活動補助金については、追加募集を行い9団体を対象に実施することができました。また、団体の方が申請等をしやすいように様式等を見直しました。また、市民参加推進評価会議、市民協働推進会議においては、パワーポイントを活用してわかりやすい会議運営に努めました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	8,002	18,828	20,433	15,535	17,536	
財源計	2,458	6,669	9,345	6,400	8,401	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	1,000	942	1,000
	一般財源	2,458	6,669	8,345	5,458	7,401
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	5,544 (0.88)	12,159 (1.93)	11,088 (1.76)	9,135 (1.45)	9,135 (1.45)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	市民協働推進会議の開催	見込	4.00	6.00	4.00	3.00
			実績	3.00	4.00	3.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	2,370	2,511	2,142	
			活動にかかるコスト (千円)	790.00	627.75	714.00	
活動2	活動名 (活動内容)	スタートアップ事業	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	1(式)	活動の総事業費 (千円)	4,267	6,249	6,588	
			活動にかかるコスト (千円)	4,267.00	6,249.00	6,588.00	
活動3	活動名 (活動内容)	ふれあい補償制度の運用	見込	0.00	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	式(式)	活動の総事業費 (千円)	0	5,115	3,696	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	5,115.00	3,696.00	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	市民活動団体登録数(団体)		目標	320.00	320.00	320.00	320.00
			実績	334.00	354.00	358.00	
		目標達成年度 平成27年度 目標成果指標値 320.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	市民参加・協働に関するフォーラム(講演会等)への参加者数(人)		目標	30.00	30.00	50.00	50.00
			実績	80.00	65.00	62.00	
		目標達成年度 目標成果指標値 0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	平成25年3月に策定した市民協働推進計画に基づき、スタートアップ事業として位置づけている「協働のまちづくり人材養成講座」については、中級編を開催し、29人の受講生のうち協働サポーターとして19人を養成することができました。また、審議会等への女性登用を図るための人材バンクを見直し、広く市民参加を促進するため、約170人からなる「市民参加パートナーバンク」を設置しました。さらに、市民参加の取組状況を外部の市民参加推進評価会議で評価していただくために、市民参加の評価の仕組みを構築しました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	ふれあい補償制度については、更新時に見積競争を実施したことにより前年より約80万円ほど契約金額を下げることでできました。【H25:3, 224千円、H26:2, 436千円】 また、スタートアップ事業において、コストが増加したのは、市民活動補助金の対象事業が増加したことが大きな要因です。【H25:5団体、H26:9団体】市民活動団体への制度の周知が進んだものと思われます。	
成果	市民活動団体登録数については、常時増減していますが、年度単位では増加しました。市民協働推進計画の取組を進めてきた結果の表れであると考えられます。 また、平成25年度から市民活動補助金の成果報告を兼ねて、団体同士の意見や情報交換の場としての「わくわく交流会」を実施しています。62人の参加を得て、協働に関するワークショップを開催しました。参加者からは、「人が集まる場と機会、団体と交流する機会が必要である」とのご意見もいただいております。	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
協働をさらに進めていくためには、わくわく交流会において、参加者の意見にもあるように、「人があつまる機会、団体と交流する機会」が必要です。社会福祉協議会が福祉分野において「マッチング交流会」を開催していることから、市民活動分野においても連携して共同で実施できるよう検討していきます。また、協働サポータークラブを設立し、市のイベントやワークショップ等に参加していただき、経験をつんでいただけるような場を提供していきます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民が市政の様々な場面に主体的に参加できるよう継続して取組んでいきます。 市民協働推進計画に基づき、市民参加と協働によるまちづくりを推進します。

事務事業調査

平成27年度

事業No	985	課	市民協働課	係	市民協働係	起案者	澤田一樹
						決裁者	野本久恵
事務事業名	市民交流センター管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 1 参加と協働 2 市民参加・市民活動支援 3 自主的な市民活動 3 活動環境の整備			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	10-5-65	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策	6-1-2-2-3	
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの	
根拠法令	有	安城市民交流センター設置及び管理に関する条例				
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	全部委託	委託先	NPO			
実施期間	開始	平成22年度	経過	5年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	市民活動を行う市民が		~になる	施設を利用できるようになる	
事務事業の内容	世代を超えた市民相互の交流促進及び市民活動の活性化を図ることを目的とした施設である安城市民交流センターを管理運営するための事業を実施しています。					
改善・対策の履歴	平成22年度：指定管理者制度を導入しました。 平成25年度：指定管理者の切り替えにより、直営で行っていた各種点検業務についても指定管理料に算入し、経費の節減に努めました。また、指定管理者のノウハウを生かした積極的な管理運営を行うため、利用料金制（利用料金を指定管理者の収入とする仕組み）を導入しました。 平成26年度：市民活動支援の視点を一層意識するように指定管理者へ依頼し、活動団体の支援に効果的な自主事業を20事業実施しました。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	37,485	34,162	58,129	58,549	35,259
財源計	32,823	29,500	54,097	54,202	30,912
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	32,823	29,500	54,097	54,202
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	4,662 (0.74)	4,662 (0.74)	4,032 (0.64)	4,347 (0.69)	4,347 (0.69)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト

			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	管理に関する委託業務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	一式(式)	活動の総事業費(千円)	36,918	33,595	34,225	
			活動にかかるコスト(千円)	36,918.00	33,595.00	34,225.00	
活動2	活動名 (活動内容)	交流センターの運営委員会開催回数	見込	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	4.00	4.00	4.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費(千円)	567	567	63	
			活動にかかるコスト(千円)	141.75	141.75	15.75	
活動3	活動名 (活動内容)	防音改修工事に関する業務	見込	0.00	0.00	1.00	0.00
			実績	0.00	0.00	1.00	
	指標名 (単位)	一式(式)	活動の総事業費(千円)	0	0	23,185	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	0.00	23,185.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	市民活動団体登録数(団体)			目標	320.00	320.00	320.00	320.00
				実績	334.00	354.00	358.00	
	目標達成年度	平成27年度	目標成果指標値	320.00	達成状況	達成	達成	達成
成果2	施設利用者数(安城市民交流センター)(人)			目標	45,000.00	45,000.00	46,096.00	47,050.00
				実績	43,091.00	44,839.00	43,813.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	指定管理者に対して働きかけをしたことにより、自主事業数は、平成25年度9事業に対して、平成26年度は20事業を開催することができました。また、相談件数も3件増え73件となりました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	管理に関する委託業務の内容は指定管理料であり、消費税5%から8%への増加がコスト増の原因です。また、防音改修工事のために、工事等に関するコスト(工事費、設計委託費等)が平成26年度は増加しています。
成果	施設利用者が約1,000人減少したのは、12月9日から3月16日までの期間で、多目的ホール及び第1、第2音楽室の防音改修工事を行ったことが要因です。市民活動支援の視点を一層意識するように指定管理者へ依頼したことから自主事業数が増え、相談件数の増加にも影響していると考えられます。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
自主事業等をさらに充実させるとともに、市民交流センターと市民活動団体との情報共有を図るためのツールとして、フェイスブックの導入について検討します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	市民活動団体等は、行政との協働のパートナーとして活躍が期待されています。その団体の活動を支援をする市民交流センターの担う役割は重要であり、充実した支援を継続して実施していきます。